

MAMANOEN
Report



ポストコロナ元年 歓声や笑顔が戻ってきました

2023 年 5 月、新型コロナウイルス感染症が2類相当から5類感染症に変更となり、私たちの生活もコロナ禍を経て大きく変化をした 1 年となりました。対面でのイベントが徐々に解禁され、親子向けワークショップや一時託児もご依頼数が戻り、子どもたちの学校生活においても行事やイベントが再開されるなど、制限も緩和され、笑顔や元気な声に戻ってきました。



11 月、実行委員として携わった「SAITAMA 子育て応援フェスタ」にブース出展しました。さいたまスーパーアリーナにて 1 万 7 千人以上が来場した久しぶりの対面イベントで、50 名の方にアンケートを実施しました。95% は小学校低学年までのお子さんを子育て中ですが、70% の方が働いていると伺って驚きました。小さなお子さんを育てながらも働いている方がとても増えましたね。待機児童問題が徐々に解消されてきていることあるのでしょうか、産休育休を使って働き続けるワークスタイルが広がっていることを体感しています。

女性の働き方の変化について

M字カーブからL字カーブへ

以前はM字カーブだった女性の労働力率の表現が、今ではL字カーブでの正規雇用比率の表現に変化しています。働き続けることが前提となりました。しかし、20 代前半をピークに、働き方が非正規雇用シフトしている現実もあります。その原因については、10 年以上の事業経験から想像できます。正規雇用で働き続けられなかった方々が、まめのえんに沢山関わってくれているのです。



（出所）内閣府「男女共同参画白書令和4年版」 女性の年齢階級別正規雇用比率

つたわる つながる「キットネット」 あなたのサービスや活動をキット化します！

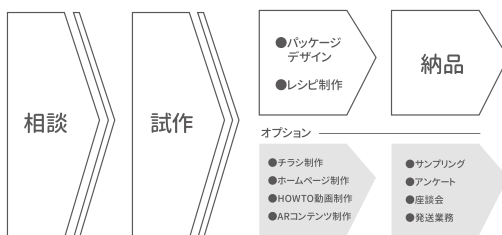


ワークショップで 商品を知ってもらう 取り組みを伝える つながりを作る

非接触型プロモーションキット「キットネット」は、消費者に能動的に体験してもらうことで、サービスや商品の情報を確実にお客様へお届けするためのコミュニケーションツールです。

販売士やワークショップデザイナーなど、関連した専門スキルを持つスタッフが各プロジェクトごとに専任で担当します。ワークショップの企画運営はもちろんのこと、オプションでチラシや web サイトの制作、アンケート、サンプリング、発送業務まで、ワンストップでご提供することが可能です。

キットができるまで



36 キット

ワークショップキット提供数



商業施設

ワークショップで楽しく SDGs

3R（リデュース・リユース・リサイクル）をテーマにし、店舗の廃棄素材や森林の間伐材などを利用。SDGs を楽しく学び体験できるワークショップを企画運営しています。



マンションコミュニティ

商業施設

ワークショップでつながり作り

親子でワークショップに参加することで、ものづくりの楽しさだけでなく、参加者同志のつながりや、コミュニティへの参加のきっかけづくりをお手伝いしています。



スタッフ募集中

託児部スタッフ／ハンドメイド内職／講師／各種デザイナー

詳細はこちら

公式アカウント

LINE



Instagram



合同会社まめのえんの SDGs



Mamanoen Report

2023 年 ままのえんレポート

168 人
ままのえんで活躍した
のベスタッフ数
ままのえん全体

613 組
ワークショップ
参加数
プロモーション支援

1992 ケ
内職
納品数
内職ラボ

73 組
託児
利用者数
一時託児

MAMANOEN Report



子育ても仕事も大切にしたいから ままのえんで活躍する 新しいワークスタイルの実践者たち

ままのえんでは、柔軟な働き方を選ぶことができます。超短時間労働、在宅業務、子連れ出勤、仕事単位での業務委託など、仕事と子育て・家庭のバランスを取りながら無理なく仕事ができる仕組みづくりに創業当時より取り組んでいます。今後は私達が新しい働き方を実践していくことで、活動の幅をさらに広げていきます。

MAMANOEN プロモーション 支援



親子向けワークショップで
クリエイティブに活躍
ワークショップデザイナー
+ 託児スタッフ
蓮見郁子さん

2023 年は年間で 12 コンテンツを企画開発し、合計 462 組の親子が参加、募集開始とともにすぐに満席となる人気コンテンツもある蓮見さん。託児部のスタッフでもあり、10 年前から活躍中です。小中学校教員免許と保育士の資格も持ち、お子さんを出産するまでは劇団や音楽団体のパフォーマーとして舞台やワークショップなどのお仕事をしていました。それらの経験をフルに生かしてクリエイティブな活動を実践されています。「ワークショップは想像、創造の世界を広げる自由な遊びであり、日々をちょっぴり豊かにする小道具」という想いでコンテンツを企画されているとのこと。



MAMANOEN 内職ラボ



10 年以上前から
在宅ワークを実践
内職ラボディレクター
+ 保育園の調理スタッフ
野口真紀さん

ままのえん設立当初から活躍している野口さんは、2023 年の内職ラボ事業で製品合計 805 個の納品をディレクションしました。累計納品数はなんと 1 万個以上。ご自身は以前よりハンドメイドユニットとして活動中ですが、お子さん出産前は商社で営業事務のお仕事をされており、その経験は内職のディレクションにとっても役立っているそう。現在は保育園の調理スタッフとしても活躍中。10 年以上前から在宅ワークと共に複数のお仕事を精力的にこなす野口さん。「とにかく出会いとご縁に恵まれた幸せ者。『感謝』『笑顔』『バランス』を大切にしています。」と秘訣を教えてくださいました。



MAMANOEN 一時託児



保育士の資格取得で
キャリアアップ
託児部スタッフ
+ 保育士
菊地多恵子さん

保育園の保育士として働き、スポットで託児部でも活躍している菊地さんは、8 年前に登録した際には保育士資格は持っていませんでした。自身の子育てもしつつママスタッフとして託児部で活動し、なおかつ専門学校に 2 年間通って保育士の資格を取得。しっかりと目標を見据えながら、ご自分のキャリアも確実にステップアップしています。「自分の育児経験から子どもが成長していくことの面白さや不思議さを知り、託児部の仕事の中で子どもに関わる仕事に興味を湧き、コツコツ続けていく中で資格取得に繋がりました。」と、「子育て経験もキャリアになる」を体現しています。



小林あゆみの近況報告

合同会社ままのえん代表 + 埼玉県教育委員会教育委員

埼玉県内各所に視察に出かけた一年間



2021 年 12 月に埼玉県教育委員会の委員を拝命して 2 年がすぎ、任期の半分が終了しました。毎月定例の 2 回の会議に加え、視察に出かけることも増えました。コロナ禍を経て行事やイベントが復活した学校現場の視察は毎回とても楽しみで、伸び伸びと楽しんでいる子どもたちの笑顔を見

ると涙腺が緩んでしまうほど。ICT 機器を使った教科横断的な学びは、コロナ禍を経たからこそだなと感じています。教育委員会の仕事の一つに「文化財の保護」がありますが、各種文化施設の視察も多く、学芸員さんたちの熱い説明を聞くことが毎回楽しみです。残り 2 年ほどの任期で埼玉県教育委員会の『今』をどう伝えていくのかという課題を持って、精力的に動いていきたいです。



高橋めぐみの近況報告

合同会社ままのえん事務局長 + 北海道下川町で新規就農

さいたまと北海道でのデュアルワーク



2023 年 10 月～北海道とさいたまの二拠点生活から北海道下川町へ移住しました。私が今実践しているのはいわゆる「半農半 X」。農的な暮らしをしつつ仕事や自らの活動を両立させていくことです。半農の「農」とは、北海道で代表されるような機械化された大規模農業ではなくコンパクトな農業です。自分に必要なものは少しでも自分の手でつくっていける、無理のない農的な暮らしを目指しています。

半 X はこれまで 12 年活動してきた「ままのえん」での活動だと考えています。自らの能力や特技などを生かし社会と繋がっていきける場所が、ままのえんにはあります。さいたまとは距離は離れていますが、工夫をしながら北海道でも引き続き取り組んでいきたいと思っています。

